

A. 展覧会活動

1. 開館40周年記念特別展「ピカソ 天才画家の版画芸術」

会 期	平成23年4月2日（土）～5月22日（日）
休 館 日	月曜日（※5月2日は開館）
開館日数	45日間
開館時間	9時30分～17時30分（入館は17時まで）
入 館 料	一般1,000円（800円）、高校・大学生700円（500円） 駿府博物館友の会会員500円、団体10名以上2割引 中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※（ ）内前売り料金
共 催	静岡新聞社・静岡放送
後 援	静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
協 力	財団法人荒井記念美術館
企画協力	ステップ・イースト
講 演 会	1 「ピカソの版画芸術」 講師／今井敬子氏（ポーラ美術館学芸員） 日時／4月 9日(土)13時30分～ 講演会（講座室にて） 15時～ 特別ギャラリートーク(展示室にて)
	2 「ピカソの生涯と芸術」 講師／中村隆夫氏（美術評論家・多摩美術大学教授） 日時／5月14日(土)13時30分～ 講演会（講座室にて） 15時～ 特別ギャラリートーク(展示室にて)
内 容	アメリカの音楽家ミッチ・ミラー旧蔵を引き継ぎ、充実させた北海道岩内町の荒井記念美術館が所蔵する貴重なピカソ版画作品群の中から、厳選された作品120点で構成され、「絵画とモデル」、「闘牛と古代神話」、「男女あるいは抱擁」、「女の肖像」、「静物、サーカス、男の顔など」の5つのテーマに分け、初期から1960年代の円熟期までの版画作品を展示した。ピカソという20世紀を代表する偉大な芸術家の版画作品を通じ、より多くの県民にアートの楽しさを訴求できたと考える。特に、日頃よく来館される高齢者のみならず、親子連れ、カップル、学生など、普段当館にあまり来館しない層に「アートの魅力」を訴求できたことは事業効果としては、非常に好ましい結果だった。
入 館 者	<u>有料：4,173人 無料：1,495人 合計：5,668人</u>

2. 館蔵展「四季の日本画展～美しき日本の心～」

会 期	平成23年5月28日（土）～7月3日（日）
休 館 日	月曜日
開館日数	32日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	一般300円、高校・大学生100円、団体10名以上2割引 駿府博物館友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
ギャラリートーク	日時／会期中の第2・4日曜日10時、14時（展示室内） 講師／当館学芸員
内 容	花鳥風月を画題とする日本画は、四季の変化がはっきりする日本の自然とそこに暮らす人々の季節ごとの生活や楽しみを古くから描いてきた。画家が表現しようとしたものは日本人の心象風景だったと言える。当館の日本画コレクション名品60点余を通じて、それぞれの画家が捉え、表現した日本の四季の美しさを伝えることができた。
入 館 者	<u>有料：732人 無料：240人 合計：972人</u>

3. 開館40周年記念企画展「今、そして—県版画招待作家21世紀展Ⅲ」

会 期	平成23年7月9日(土)～8月28日(日)
休 館 日	月曜日（※7月18日は開館）、7月19日（火）
開館日数	44日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	一般500円、高校・大学生300円、駿府博物館友の会会員250円 団体（10名以上）2割引、中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
後 援	静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡県版画協会
ギャラリートーク	会期中、出品作家によるギャラリートークを下記日程で開催した。（展示室内） ①7月 9日（土）13時30分～ 山下淳子氏（春陽会会員） ②7月16日（土）10時30分～ 都築倍弘氏(日本版画協会準会員) ③7月23日（土）13時30分～ 澤田祐一氏（無所属） ④7月24日（日）13時30分～ 青木晴美氏(国画会会員) ⑤7月30日（土）13時30分～ 時田也寸子氏（モダンアート協会会員） ⑥8月 6日（土）13時30分～ 瀧 将仁氏（日本版画協会準会員） ⑦8月 7日（日）13時30分～ 大石善一郎氏（静岡県版画協会会員） ⑧8月13日（土）13時30分～ 加藤隆亜氏（春陽会会員） ⑨8月20日（土）10時30分～ 大手 仁氏（日本版画協会会員） ⑩8月21日（日）10時30分～ 遠藤美香氏（無所属） ⑪8月27日（土）13時30分～ 中田真央氏（静岡県版画協会会員）
内 容	当館では2009年度から、3ヵ年継続事業として21世紀の県版画作家の活動に焦点を当て、その作品を通して現況と作家の仕事を紹介することを目的に、作品寄贈作家を中心に、今後期待される有望作家を招待する公開展を開催してきた。平成23年度は、技法上伝統的な木版画と銅版画で新しい現代版画への挑戦を続ける山下淳子、青木晴美、都築倍弘、澤田祐一、時田也寸子、大石善一郎の寄贈作家に、今回招待した加藤隆亜、佐藤照代、大手仁のベテランと、新進気鋭の瀧将仁、中田真央、遠藤美香の6作家を加えた12作家64作品を紹介した。今回の展覧会は「版画」作品を通じ、より多くの県民にアートの楽しさを訴求できた。
入 館 者	<u>有料：673人 無料：409人 合計：1,082人</u>

4. 館蔵展「侍・僧侶の墨跡と文人南画展」

会 期	平成23年9月3日（土）～10月16日(日)
休 館 日	月曜日（※9月19日「敬老の日」、10月10日「体育の日」は開館し、翌日休館）
開館日数	38日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	一般300円、高校・大学生100円、団体10名以上2割引 駿府博物館友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
ギャラリートーク	日時／9月11、25日、10月9日の14時（展示室内） 講師／当館学芸員
内 容	歴史上の人物の書は、その人の背景まで考えると語句、書体に一層味わい深いものがある。江戸後期の文化人たちが余技で描いた文人画や同じころ盛んになり近代まで一派をなした南画にも、型通りの日本画とは違った面白みが感じられる。当館コレクションの中から、侍・僧侶・文人の墨跡や絵画60点余を展示し、作品の面白さを伝えることができた。
入 館 者	<u>有料：707人 無料：260人 合計：967人</u>

5. 開館40周年記念特別展「星野富弘 花の詩画展」

会 期	平成23年10月22日（土）～11月27日（日）
休 館 日	なし
開館日数	37日間
開館時間	平日9時30分～20時、土日祝9時30分～17時30分（入館は閉館30分前）
入 館 料	一般800円（600円）、高校・大学生500円（400円） 駿府博物館友の会会員400円、団体10名以上2割引 中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※（ ）内前売り料金
共 催	静岡新聞社・静岡放送
後 援	静岡県、静岡市、静岡市教育委員会
協 力	富弘美術館、富弘美術館を囲む会
協 賛	株式会社平成建設
講 演 会	「星野富弘の詩画の世界」 講師／桑原みさ子氏（富弘美術館主任学芸員） 日時／10月29日(土)13時30分～ 講演会（講座室にて） 15時～ 特別ギャラリートーク(展示室にて)
朗 読 会	静岡民放クラブ20周年記念朗読会「星野富弘を読む」 協力／静岡民放クラブ 日時／11月12日(土)11時、14時（講座室にて）
ビデオ放映	「強い茎になろう 星野富弘のあゆみ」〔25分〕（ビデオ室にて）
内 容	星野富弘氏のふるさとや両親への思い、草花の自然や生きることへのメッセージ、それが時にはユーモラスに添えられた水彩画、ペン画、リトグラフ作品100点で彼の「花の詩画」の世界を紹介。会期中には入館者から200通を超えるメッセージをいただいた。星野富弘氏の生き方や考え方、詩画の世界に「感動した」「勇気づけられた」「自分はずっとしっかりしなくては」等ほとんどが前向きな声を寄せていただき、彼のメッセージが伝わった。
入 館 者	<u>有料：10,853人 無料：2,704人 合計：13,557人</u>

6. 館蔵展「多彩な版画技法展」～2010年寄贈作家の披露を兼ね

会 期	平成23年12月3日（土）～平成24年1月15日（日）
休 館 日	月曜日（1月9日「成人の日」は休館）、12月26日～1月3日（年末年始休館）、1月10日
開館日数	31日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	一般300円、高校・大学生100円、団体10名以上2割引 駿府博物館友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
ギャラリートーク	日時／12月11、25日、1月8日の14時（展示室内） 講師／当館学芸員
内 容	県内作家の版画作品は駿府博物館の所蔵品の柱の一つ。現代版画は木版、紙版、コラグラフ、銅版、シルクスクリーン、リトグラフなどさまざまな技法を駆使し、そこに作家のアイデアが加わり独自の芸術世界を築いている。今回は館蔵版画作品を技法や版材ごとに並べて展示。併せて2010年に寄贈を受けた小田淑郎、鈴木敏靖両氏の作品を披露した。
入 館 者	<u>有料：256人 無料：157人 合計：413人</u>

7. 開館40周年記念企画展「日本画近代化への道 橋本雅邦と門人たち」

会 期	平成24年1月21日（土）～3月4日（日）
休 館 日	月曜日

開館日数	38日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	一般800円（600円）、高校・大学生500円（400円） 駿府博物館友の会会員400円、団体10名以上2割引 中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※（ ）内前売り料金
後 援	静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
講 演 会	「橋本雅邦と門人たち」 講師／金原 宏行氏（常葉美術館館長・美術評論家） 日時／1月28日(土)13時30分～ 講演会（講座室にて） 15時～ 特別ギャラリートーク(展示室にて)

ギャラリートーク	日時／毎週日曜日 10時、14時（展示室内） 講師／当館学芸員
内 容	日本画の近代化に情熱を燃やした橋本雅邦と門人たちの作品により、明治以降の日本画の変遷をたどる展覧会。駿府博物館が所蔵する雅邦の作品6点をはじめ、各美術館の協力により名品約45点を展示。ギャラリートーク・講演会などを通じ、来館した人に「日本画」の魅力を伝えることができた。さらに、「近代日本画」の魅力だけではなく、政治、経済などと同様に、明治という変革の時代、絵画によってイノベーションを起こした人々を紹介することができた。また、「キッズアートプロジェクトしずおか」で実施しているミュージアム・パスポートのおかげで、小学生の子供を持つ家族の来館者が増加した。 【作品を展示した画家】橋本雅邦、狩野芳崖、横山大観、下村観山、菱田春草、西郷孤月、川合玉堂、石井林響、吉原雅風、山内多門
入 館 者	<u>有料：1,270人 無料：476人 合計：1,746人</u>

8. 第15回駿府博物館講座生合同作品発表会

会 期	平成24年3月15日（木）～3月20日（火）
休 館 日	12日（月）
開館日数	5日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）（※20日は15時まで）
入 館 料	無料
内 容	当館主催の日本画、水墨画、仏画・写経、版画、水彩画、油彩画、短歌の7講座の受講生作品と古文書講座の内容紹介を目的に、展示室を使用して合同展示会を開催した。 出品者数105名（講師含む）、作品総数115点（講師作品含む）
入 館 者	<u>無料：359人 合計：359人</u>

9. 第35回蘇峰会静岡県書道会

会 期	平成24年3月20日（火）～3月25日（日）
休 館 日	なし
開館日数	5日間
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
入 館 料	無料
共 催	公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
後 援	静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟
内 容	徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募総数2,669点の中から、最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞55点、優秀賞265点、あわせて320点を展示した。
入 館 者	<u>無料：408人 合計：408人</u>

平成23年度 展覧会入 館者	有料	18,664人 (12,575人)	無料	6,508人 (4,292人)	合計	25,172人 (16,867人)
----------------------	----	----------------------	----	--------------------	----	----------------------

※ () 内は平成22年度実績

B. 教育普及活動

1. 年間講座

1. 古文書講座 第1・3土曜日 13時30分～15時30分
講師 中村典夫先生 (駿河古文書会副会長)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数450名
2. 水墨画講座 第2・4日曜日 12時30分～14時30分
講師 菊地静寿先生(日本画家)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数242名
3. 日本画講座 第2・4日曜日 15～17時
講師 菊地静寿先生(日本画家)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数288名
4. 版画講座 第1・3木曜日 13時30分～15時30分
講師 杉山 彰先生(国画会準会員・静岡県版画協会理事)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数256名
5. 油絵講座 第1・3金曜日 13時～15時
講師 池谷富美子先生(国画会準会員)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数192名
6. 短歌講座 第2・4木曜日 13時～16時
講師 山口静子先生 (静岡県歌人協会名誉会員)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数254名
7. 水彩画講座 第2・4水曜日 14時～16時
講師 南城由起子先生 (日展会友・白日会県支部長)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数954名
8. 仏画・写経講座 第1・3日曜日 13時30分～16時30分
講師 藤 白魚先生(仏画師)
期間 平成23年4月～平成24年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数496名
参加者合計3,132名

2. 短期講座

1. 第8回短期歴史講座 徳川家康と織豊政権下の静岡
期間 平成23年9月～11月 計6回 土曜日 13時30分～15時30分
会場 静岡商工会議所5Fホール、最終回は静岡労政会館6階ホール (静岡市葵区黒金町)
第1回 9月10日「本能寺の変と家康の五カ国支配」
講師／本多隆成氏 (放送大学静岡学習センター長・静岡大学名誉教授)
第2回 9月24日「小牧長久手の戦い前後の家康・秀吉の戦略意図とその展開」
講師／藤田達生氏 (三重大学教育学部教授)

第3回 10月8日「家康江戸移封と豊臣政権下の駿遠豆」
講師／柴 裕之氏 (千葉県文書館嘱託・東洋大学非常勤講師)
第4回 10月22日「北条攻め前後の家康の立場と動向」
講師／鈴木将典氏 (駒澤大学非常勤講師)
第5回 11月5日「関ヶ原に至る東海道豊臣諸将の動向」
講師／前田利久氏 (清水国際高校教諭)
第6回 11月26日「関ヶ原合戦の全貌と徳川家康の戦略」
講師／小和田哲男氏 (静岡大学名誉教授) 延べ参加人数 1,350
2. 「素材から見る美術紙の知識」和紙の文化を探る
期間 9月～10月 2ヵ月間 計3回 土曜日 13時30分～15時30分
会費 一般6,000円、友の会員4,000円

会場 駿府博物館講座室

講師 宍倉佐敏氏 (宍倉ペーパー・ラボ代表)

内容 9月10日 第1回 紙の定義と歴史／紙の原材料と繊維について
9月24日 第2回 紙の製法と種類／美術用紙の特徴
10月8日 第3回 紙の劣化と虫害／紙にみる時代的特色

延べ参加人数 81名

3. 「遺跡は語る」～発掘調査の成果から見る古代の静岡～

期間 平成23年11月～平成24年3月 計5回 土曜日 13時30分～15時

会場 駿府博物館講座室

第1回 11月26日「御子ヶ谷遺跡が語る駿河西部の古代」
講師／岩木智絵氏 (藤枝市市民文化部文化財課主任主査)

第2回 12月10日「遠江国敷智郡と伊場木簡」
講師／鈴木敏則氏 (浜松市文化財課)

第3回 1月14日「発見された古代東海道と静岡平野の条里遺構」
講師／及川 司氏 (前静岡県埋蔵文化財調査研究所次長)

第4回 2月11日「古代のミナトと浜名湖」
講師／丸杉俊一郎氏 (静岡県埋蔵文化財センター主査)

第5回 3月10日「遠江国分寺跡～古代における巨大寺院の造営～」
講師／安藤 寛氏 (磐田市教育委員会文化財課主査)

延べ参加人数 205名

参加者合計 1,636名

3. 研修旅行

1. 「江戸博物館と根津美術館」
期 日 平成23年5月8日 日帰り 最少催行人数に達せず中止

2. 「近江・奈良・河内の史跡と仏教探訪」
期 日 平成23年9月17日～18日 1泊2日 最少催行人数に達せず中止

3. 「スケッチツアー 秋の安曇野 わさびとアルプスの雄大な自然」
期 日 平成23年10月11日 日帰り 参加人数 35名

4. 「現地見学会 和紙(洋紙)制作の現場を見る会」
期 日 平成23年10月15日 日帰り 最少催行人数に達せず中止

5. 「現地見学会 小田原城攻防戦 関ヶ原合戦の現場を訪ねて」
期 日 平成23年10月16日 日帰り 参加人数 40名

6. 「～キリシタンの史跡を巡る～祈りの島・五島列島福江島と平戸、長崎3日間」
期 日 平成23年11月11日～13日 最少催行人数に達せず中止

7. 「現地見学会 関ヶ原合戦の現場を訪ねて」
期 日 平成23年11月13日 日帰り 参加人数 41名

参加者合計 116名

4. 友の会親睦会

期 日 平成24年1月9日 日帰り
見学地 岡崎市美術館「村山槐多の全貌」展 鑑賞と岡崎城
親睦会場 岡崎市美術博物館内のレストラン 参加人数 67名

5. 平成23年度友の会員数 総数 484名(前年比47名増)

C. 画廊使用一覧

1. 藤 白魚写真と仏画 平成23年6月7日～12日
2. トロクク祥子手ひねりの備前焼展 平成23年7月12日～18日
3. 本山和泉・備前焼本山和泉親子作陶展 平成23年9月27日～10月2日
4. 山鳩会日本画展 平成 23年10月4日～10月10日

◆ 平成23年度博物館利用者数 30,346名

事項	有料	無料	合計	備考
展覧会入館者数	18,664名	6,508名	25,172名	9展示
講座参加者数	4,768名		4,768名	年間9講座 短期1講座 ミニ講座1
研修参加者数	171名	12名	183名	研修旅行 親睦会
ボランティア参加数		223名	223名	星野富弘 花の詩画展
博物館利用者数総計			30,346名	前年比 8,821名増

D. 館内業務

1. 職員の異動

平成24年3月15日付けで静岡放送より石田雄二が副館長として出向、同日着任した。
平成24年4月17日より、駿府博物館の学芸員として新たに北泉剛史が加わる。

2. 館蔵品の修理

株式会社墨仁堂(静岡市葵区大岩1-4-4)に依頼し、以下作品の修理を行った。

- ・高橋泥舟 「一行書」
- ・福田半香 「秋景山水図」
- ・平福百穂 「滝」
- ・作者不明 「徳川慶喜像」

3. 作品・資料の購入・寄贈・寄託

- 1) 作品の寄贈
加藤隆亜氏より水性木版6点
中田真央氏より木版1点

4. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

- 1) 特別展・企画展・館蔵展9企画出品目録リーフレット(無料頒布)
- 2) 特別展「ピカソ・天才画家の版画芸術」図録・グッズ(委託有料頒布)
- 3) 特別展「星野富弘 花の詩画展」でグッズ(委託有料頒布)
- 4) 企画展「今、そして一県版画 招待作家21世紀展Ⅲ」でグッズ(委託有料頒布)
- 5) 企画展「橋本雅邦と門人たち」で図録を500部制作(有料頒布)グッズ(委託有料頒布)

5. 委託販売契約

1. 株式会社コミュニティネットと歴史グッズ委託販売覚書(平成21年6月～)

E. 館外業務

1. 作品の貸与・出品

- 1) 島根県立美術館に「伊東深水・吹雪」作品・写真を(平成23年12月22日～平成24年2月21日)貸与する。
- 2) 榊ホテルオークラに栖鳳「秋霽」岳陵「春光」作品・写真を(平成23年7月28日～平成23年9月9日)に貸与する。

2. 写真撮影及び掲載

- 1) 静岡商工会議所に土佐光成「駿府鳥瞰図」写真を(平成23年9月30日～平成23年10月27日)貸与する。
- 2) 旬作品工房に勝 海舟「人性含霊」写真を(平成23年10月22日～平成23年11月20日)貸与する。
- 3) 榊思文閣出版に冷泉為恭「足柄山図」写真を(平成23年12月15日～平成24年3月6日)貸与する。
- 4) 榊日経映像に「林間残照図」の写真撮影を許可する。撮影日(平成24年2月6日)放送日(平成24年3月31日)
- 5) 日経映像制作本部に「林間残照図」の写真を(平成24年3月7日～平成24年3月31日)貸与する。
- 6) 教育出版・高校国語編集部に「草蘆三顧」の写真を(平成24年3月15日～平成24年4月15日)貸与する。

3. 契約継続事項

- 1) 別館1階設置自販機の設置協定書をダイドードリンコ、ツキジフーズ、伊藤園3社と継続契約。(平成21年12月25日～)
- 2) 榊トップアートと「駿府博物館(大石コレクション)日本画名品十二撰」複製画の販売契約再契約(平成21年12月25日～)
- 3) 榊トップアートと伊東深水「吹雪」複製画の販売契約再契約(平成21年12月25日～)
- 4) 榊トップアートと伊東深水「溪村春信」複製画の販売契約再契約(平成21年12月25日～)
- 5) 榊静銀リースとFMV-D5320(2台)FMV-C8230(1台)リース契約(平成19年7月～)
- 6) 前野会計事務所と顧問契約(平成22年7月～)
- 7) (有)マネージメントタクトとTKC会計システムのリース契約(平成22年10月～)

4. 新規契約事項

1. (株)エンタテインメントプラスとチケットの委託販売契約
(特別展「ピカソ 天才画家の版画芸術」～)
(特別展 「星野富弘 花の詩画展」～)
(企画展 「橋本雅邦と門人たち」～)
2. リコーリース(株)とコピー機のリース契約 (2012年2月9日より)